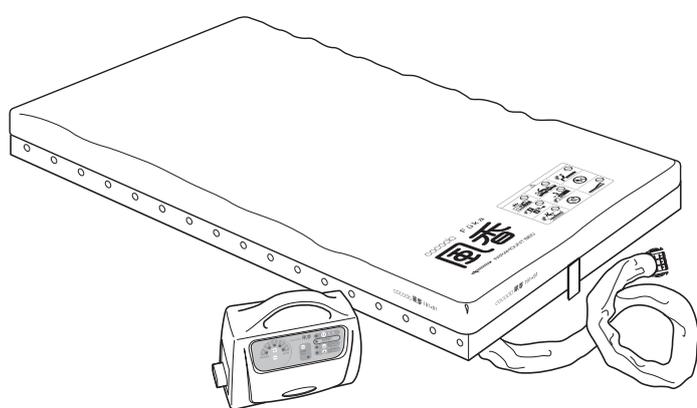


取扱説明書

エアマットレス こちあ風香

保証書付

7F10956300A6



cococia ふうか
風香

KE-951M、KE-953M

まえがき

このたびは、エアマットレス：こちあ風香（以下、エアマットレス）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、エアマットレスを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- このエアマットレスをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- このエアマットレスを使用する方ばかりでなく、付き添いの方や介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後でも、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このエアマットレスは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

もくじ

1 使用目的	1
2 各部の名称と部品の確認	2~3
3 安全に使用するための注意事項	4~9
4 機能	10
5 設置について	11~14
6 使用方法	15~16
7 お手入れと点検	17~20
8 故障かな?と思ったら	21~22
9 長期保管・輸送と廃棄について	23~24
10 仕様	25
11 適合品	26~27
12 製品のシンボル定義	28
13 アフターサービスについて	29

1 使用目的

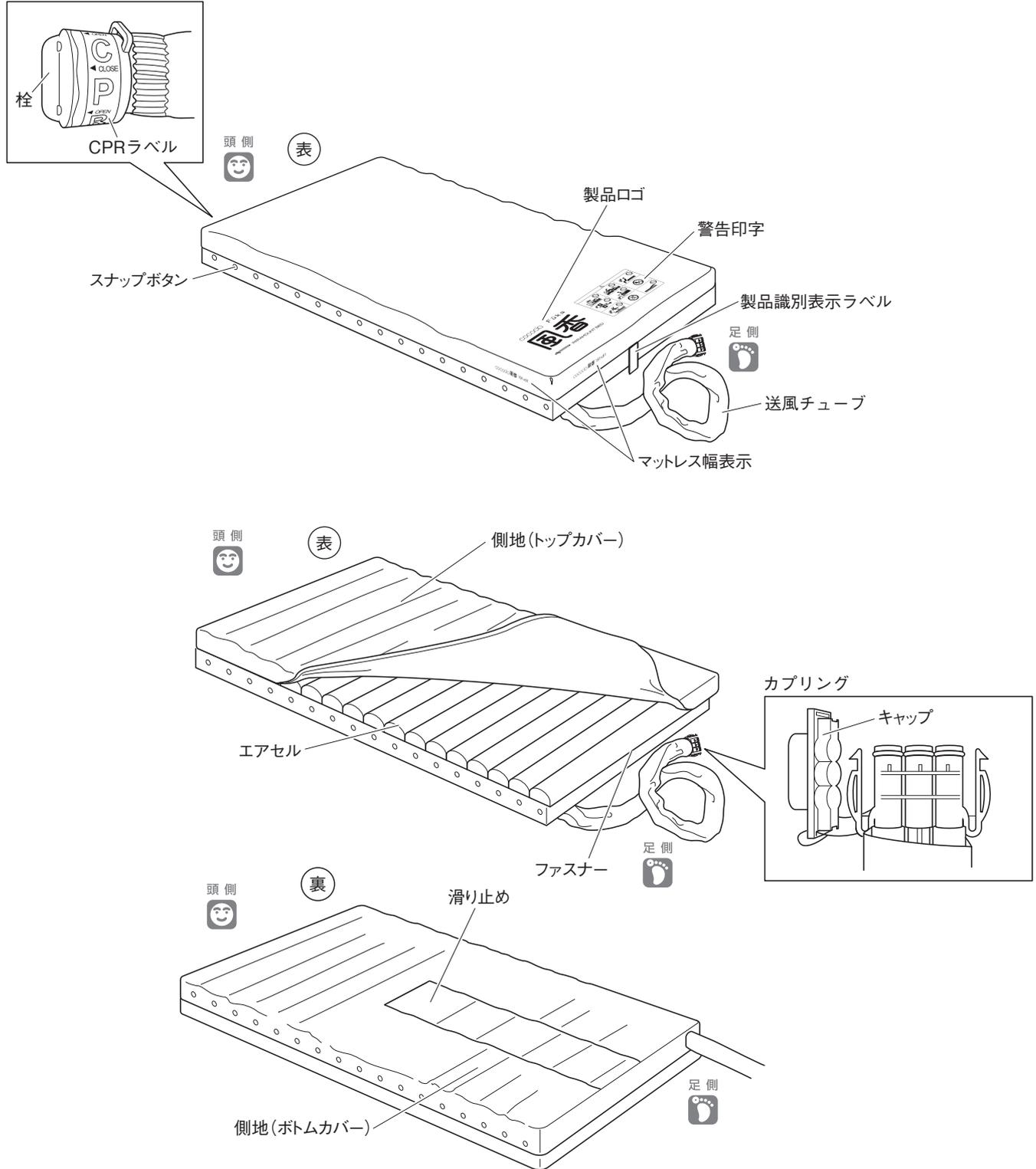
■ここちあ風香はポンプ外付け型のエアマットレスであり、医療施設・高齢者施設やご家庭で療養される際に、身体にかかる圧力を分散させることを目的に作られています。

2 各部の名称と部品の確認

■ マットレス本体とポンプ本体が入っていた梱包材（段ボール・ビニール袋）は、長期保管や輸送の際に使用しますので、大切に保管してください。（23～24ページ参照）

<マットレス本体>

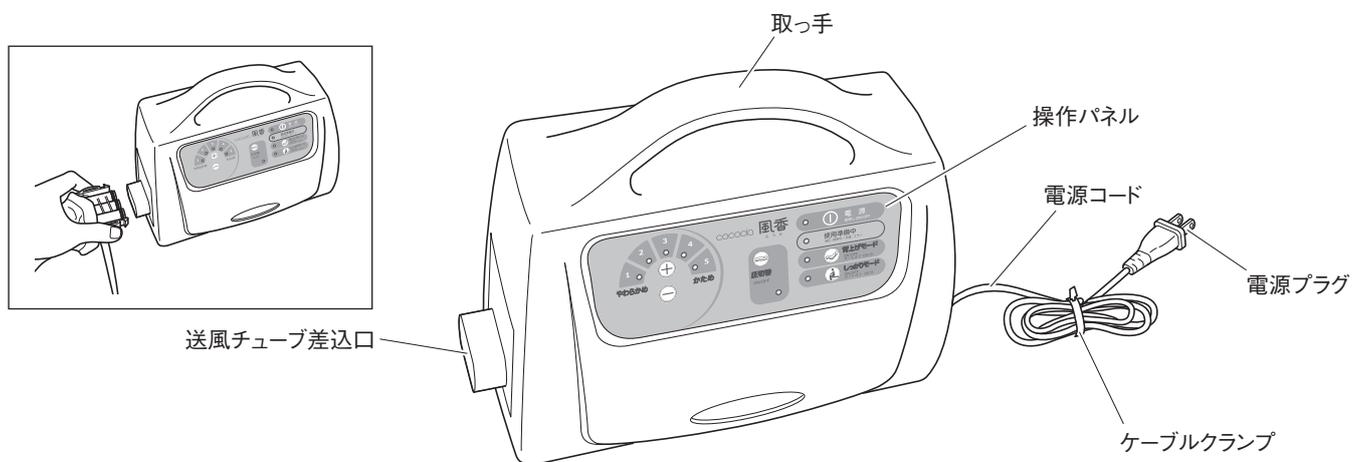
CPRバルブ



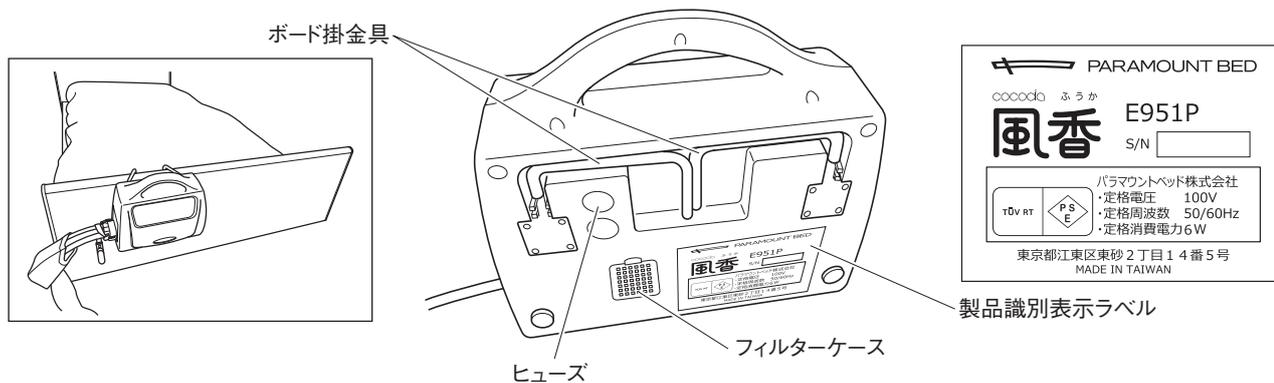
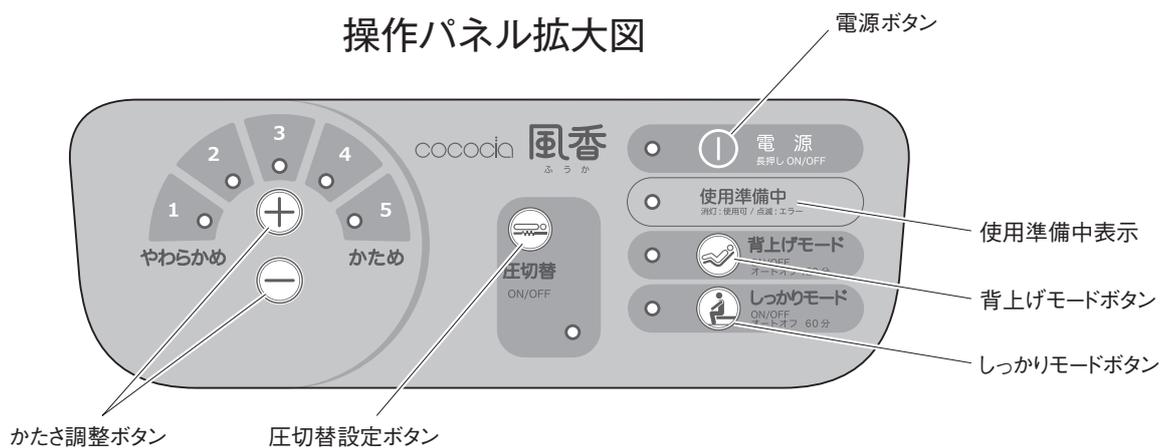
※このマットレスには表・裏・頭側・足側があります。製品ロゴがある面を表にし、送風チューブが使用される方の足側に来るように設置してください。

2 各部の名称と部品の確認

<ポンプ本体>



操作パネル拡大図



3 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「△警告」と「△注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

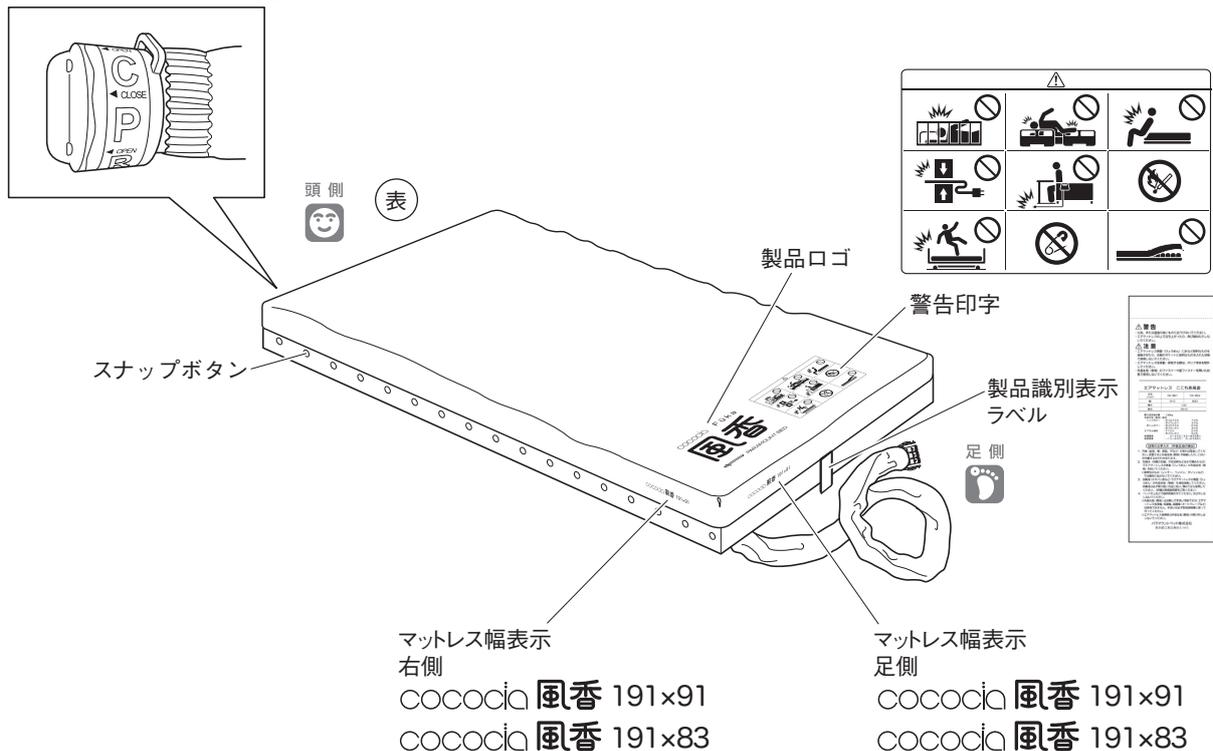
 警告 <small>けい こく</small>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺 ^{まひ} など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意 <small>ちゅう い</small>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

〔警告印字・CPRラベル・製品識別表示ラベルについて〕

- 注意事項の中で、特に注意していただきたい項目をラベルなどにして下記の場所に印刷・貼付・縫いつけてあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
・マットレス本体表面・ポンプ本体の裏面・CPRバルブ
- マットレス本体の警告印字や製品識別表示ラベルが傷ついたり、読めなくなったりした場合は、販売店から新しい側地（トップカバー）を取寄せ、交換してください。
- ポンプ本体の製品識別表示ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店から新しいラベルを取寄せ、貼り直してください。
- マットレス本体のCPRラベルが傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店またはこちあセンター(29ページ参照)まで修理をご依頼ください。

CPRラベル(CPRバルブに貼付)



3 安全に使用するための注意事項



■身体のはさまれに注意してください

- ベッドサイドレールやスイングアーム介助バー・サイドサポートなどと一緒に使用される場合は、それらの製品やベッドと、エアマットレスのすき間に身体をはさまれてけがをしたり、圧迫により窒息したりするおそれがありますので注意してください。本製品は特性上沈み込みやすいので十分注意してください。

■チューブ(ドレーン)などのはさまれに注意してください

- エアマットレスとベッドやベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどのすき間にチューブ(ドレーン)などがはさまれないように注意してください。チューブ(ドレーン)などが抜けたり、つぶれたりするおそれがあります。

■身体の一部がベッドやベッドサイドレールなどのすき間に入った状態で、操作パネルを操作しないでください

- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■エアマットレスと組合せて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください

- 指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりエアマットレスが破損したりするおそれがあります。適合品については、26～27ページを参照してください。

■乳幼児やお子様には使用しないでください

- 本製品は乳幼児やお子様向けには設計されていません。エアマットレスとベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれてけがをしたり、圧迫により窒息したりするおそれがあります。

■エアマットレスはベッドの幅・長さに合わせたものをご使用ください

- ベッドの幅・長さに合わないエアマットレスを使用すると意図せぬすき間が発生し、はさまれてけがをするおそれがあります。

■乗り降りしたり端座位をとったりする際には、転落・転倒に注意してください

- ベッド(エアマットレス)へ乗り降りしたり端座位をとったりする際は、「しっかりモード」に設定し、エアマットレス全体が硬くなってから行ってください。また、看護する方や付き添いの方などが身体を支えてあげるか、スイングアーム介助バーなどを持たせて滑り落ちないようにしてください。

■ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
- このエアマットレスは、他のマットレスに比べ厚みがあるため、相対的にベッドサイドレールが低くなり、ベッドサイドレールを乗り越えやすくなるのでご注意ください。

■人が乗った状態での移動はしないでください

- マットレス本体を移動する際は、人や重いものが乗っていない状態で移動してください。マットレス本体の上に人や重いものが乗った状態で移動すると、人が転落してけがをしたり、マットレス本体が破損したりするおそれがあります。

■エアマットレスがベッドからはみ出して滑り落ちないように注意してください

- ベッドの背あげをする際や使用する方がベッドから乗り降りする際に、エアマットレスがベッドからはみ出すとエアマットレスが滑り落ち、使用する方が転落・転倒するおそれがあります。エアマットレスは特性上、重量が軽いので十分に注意してください。

■エアマットレスの上で立ちあがったり、飛び跳ねたりしてエアマットレスに衝撃を与えないでください

- 転落・転倒してけがをしたり、エアマットレスが破損したりするおそれがあります。

■エアマットレスは使用する方の容体にあわせて使用してください

- 使用する方の容体によっては、エアマットレスの操作で容体を悪化させるおそれがあります。

警告

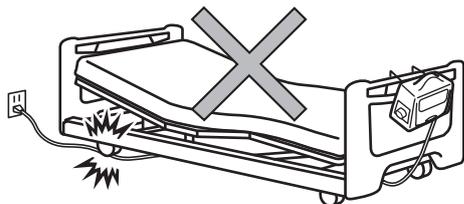
■ポンプ本体をベッドに引っ掛ける際は、フットボードの上部に操作パネルをベッドの外側に向けて引っ掛けてください

- フットボード以外の位置に引っ掛けたり、操作パネルをベッドの内側に向けて引っ掛けたりすると、操作パネルのボタンを誤って押すなどし、エアマットレスが思わぬ動きをしてけがをするおそれがあります。

■電源コードに足を引っ掛けないように注意してください

- 転倒してけがをするおそれがあります。
- 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

■電源コードを傷つけないでください

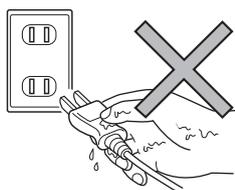


- 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ベッドの可動部で電源コードをはさまないようにしてください。
 - ・電源コードに重いものを置いたり無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ・ベッドで電源コードを踏みつかないでください。

■電源コードはベッド（エアマットレス）への乗り降りやベッドサイドテーブルを使用しない側に配線してください

- 電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。
- 電源コードの破損などにより感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



- ショートして感電したり、故障したりするおそれがあります。

■電源プラグにほこりを付着させないでください



- 電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。

- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

■電源プラグに無理な力を加えないでください

- 電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください

- 電源コードのみを持って引き抜くと、コードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

■ポンプ本体の取扱いに注意してください

- エアマットレスが誤動作してけがをしたり、故障・破損の原因となったりします。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。
 - ・踏みつけたり、押しつけたり、無理な力をかけたりしないください。
 - ・ゆかなどに落としたり壁などにぶつけたりしないでください。
 - ・電源コードを無理に引っ張らないでください。
 - ・傷つけないでください。
 - ・水をかけたり濡れた手で触ったりしないでください。
- 傷んだポンプ本体は、修理（交換）を依頼してください。

■タコ足配線は行わないでください

- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱し、火災のおそれがあります。

■エアマットレスはベッド上に直接設置し、エアマットレスの上にはシーツやマットレスパッド以外のものを敷かないでください

- 効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。また、厚みが増すと、ベッドサイドレールを乗り越えやすくなり、使用する方がベッドから転落したり、ベッドサイドレールとのすき間に身体をはさまれたりして、けがをするおそれがあります。

3 安全に使用するための注意事項



■操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

●操作が理解できないと思われる方が1人でポンプ本体を操作した場合、誤ってエアマットレスとベッドやベッドサイドレールなどのすき間に身体がはさまれてけがをしたり、効果的に体圧を分散できなくなり、床ずれが発生したりするおそれがあります。

■使用する方の体重にあわせてかたさ調整をしてください

●かたさ調整が異なると、効果的に体圧が分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。

■心臓マッサージなどの緊急対応が必要なときは、CPR機能を使用してください（16ページ参照）

●CPR機能を使用しないと迅速な処置ができなくなり、症状が悪化するおそれがあります。

■エアマットレスをMRIなどの強い電磁波環境に置かないでください

●エアマットレス誤動作の原因となったり、エアマットレスが故障したりする原因となります。

■エアマットレスの上でタバコを吸ったりしないでください

●火災などの原因となります。

■水などをこぼさないでください

●ポンプ本体に、水などをこぼさないでください。ショートして感電したり、故障の原因となったりします。誤ってこぼしてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンター(29ページ参照)までご連絡ください。

■使用者体重の範囲外の方には使用しないでください

●このエアマットレスの使用者体重は30～138kgです。使用者体重未満の方や超える方が使用すると、効果的に体圧を分散できません。

■複数の方がエアマットレスに乗らないでください

●効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生したり、エアマットレスが破損したりするおそれがあります。

■うつぶせ寝はしないでください

●長時間うつぶせ寝をすると窒息するおそれがあります。

■ポンプ本体は手順に従い正しく設置してください。また、マットレス本体がポンプ本体に確実に接続されていることを確認してください

●誤った設置や接続・固定が不十分だと、正常に動作しなかったり空気が供給できなくなったりして効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。

●固定が不十分だとポンプ本体が落下してけがをしたり、破損・変形したりするおそれがあります。また、破損によりショートして感電・火災のおそれがあります。
※正しい設置方法は12～13ページを参照してください。

■表・裏・頭側・足側を正しく設置して使用してください

●効果的に体圧を分散できません。

■マットレス本体とポンプ本体の接続部分に強い衝撃を加えないでください

●マットレス本体とポンプ本体の接続部分へ、車いす・介護リフトなどを衝突させると、カプリングが外れてエアマットレスから空気が抜け、効果的な体圧分散ができなくなるおそれがあります。

■電気掛毛布などの電気機器を使用する場合は、以下の項目に注意してください

●ベッドのキャスターや可動部でコード類（電源コードなど）をはさまないように設置してください。コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

●温度を40℃以下にしてください。

エアマットレスの故障の原因となります。

●ご使用になる電気機器の取扱説明書などで、安全な使用方法をご確認の上ご使用ください。

●電気敷毛布など、身体の下に敷く電気機器は使用しないでください。

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください

●誤動作によりエアマットレスが動作し、けがをするおそれがあります。



■電子治療器を使用するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください

- 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を同時に使用した場合、エアマットレスの故障や誤動作の原因となります。
- 電子治療器の使用後は、電源プラグをコンセントにつないでください。

■お客様による修理・改造はしないでください

- 思わぬけがや破損の原因となります。

■エアマットレスを初めて使用する際や長期保管後使用を再開する際は、本取扱説明書をよくお読みになり、エアマットレスの使用方法などを十分ご理解のうえ使用してください

- 誤操作するなどして、思わぬけがをするおそれがあります。

■被災したエアマットレスは点検・修理を依頼してください

- 地震・火災・水害などで被災したエアマットレスは、お買い上げの販売店またはこちらあセンター（29ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やエアマットレスの破損・変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

■マットレス本体・ポンプ本体は定期的に点検してください(20ページ参照)

- 使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各モードの動作、破損の有無などを点検してください。摩耗・劣化した状態で使い続けると、思わぬけがをするおそれがあります。

■ベッド搬送する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください

- 電源プラグをコンセントに差したままベッド搬送すると、電源プラグや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。

■火気または温度の高いものを近づけないでください

- エアマットレスの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・発火などの原因となります。

■ベッド(エアマットレス)付近では携帯電話などを使用しないでください

- エアマットレスが誤動作する原因となります。
- やむを得ずエアマットレス付近で携帯電話などを使用する必要がある場合は、携帯電話などをポンプ本体から30cm以上離してご使用ください。

3 安全に使用するための注意事項



■体圧分散性能を活かすために、下記の点に注意してください

- 床ずれ予防は専門家にご相談ください。このエアマットレスだけでは床ずれは予防できません。全身的な管理（栄養状態の管理、基礎疾患の管理など）が必要です。床ずれ予防を行うにあたっては医師、看護師、介護相談員などの専門家にご相談ください。
- このエアマットレスは、総合的な床ずれケアのためのひとつの道具です。体位変換を不要にするものではありません。このエアマットレスの使用と並行して、体位変換などのケアを行ってください。

■マットレス本体を落とさないでください

- カプリングが破損するおそれがあります。

■側地のファスナーを開いた状態では使用しないでください

- 開いているファスナーから水分などが浸入すると、カビが発生するおそれがあります。

■側地や詰め物が汚れたり破損したりした状態では使用しないでください

- 汚物や血液などの汚れは感染症を引き起こす原因となる場合があります。
- 側地が破損した状態で使用したり、汚物や血液などが付着したまま放置したりすると、汚物や血液などがエアマットレス内部に染み込み、感染症などを引き起こす原因となる場合があります。汚物や血液などが付着した場合は、ただちに拭き取ってください。
- 側地が汚れた場合は、「1.お手入れ」（17～19ページ参照）に従って、清拭消毒・洗浄してください。
- 側地が破損した場合は、側地を交換してください。交換方法などについては、ここちあセンター（29ページ参照）までお問い合わせください。
- エアマットレス内部が汚れたり破損したりした場合は、販売店またはここちあセンター（29ページ参照）までご連絡ください。

■エアマットレスの上にものを載せた状態で動作させないでください

- エアマットレスからものが落下し、破損の原因となります。

■マットレス洗浄機やオートクレーブ滅菌器・オゾン殺菌器・洗濯機などでは洗浄しないでください

- エアマットレスや洗浄・殺菌設備などが変質・破損・劣化するおそれがあります。

■氷まくらや保冷剤などの冷却作用のあるものはエアマットレスに直接載せないでください

- エアマットレスに急激な温度変化を与えると、内部で結露が起こることがあります。結露により、側地やエアマットレス内部が劣化するおそれがあります。

■スプレータイプの殺虫剤をエアマットレスに直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、ポンプ本体などの樹脂部品などが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをすおそれがあります。

■空気を入れた状態のエアマットレスを無理に折り曲げないでください

- 破損・変形の原因となります。

■エアマットレスの表面（ひょうめん）に針など鋭利なものを接触させたり、衣服のポケットに鋭利なものを入れた状態で使用したりしないでください

- 内部のエアセルが破損するおそれがあります。

■側地が皮脂などで汚れた状態では使用しないでください

- 側地の表面が劣化するおそれがあります。

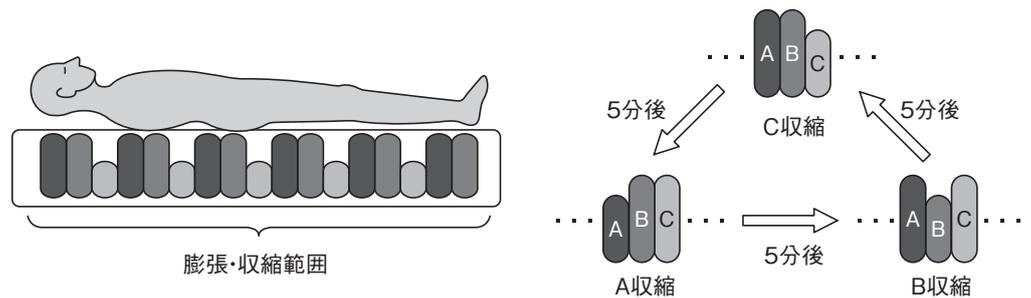
4 機能

■このエアマットレスには以下の機能や設定モードがあり、エアセルの内圧を変化させることができます。

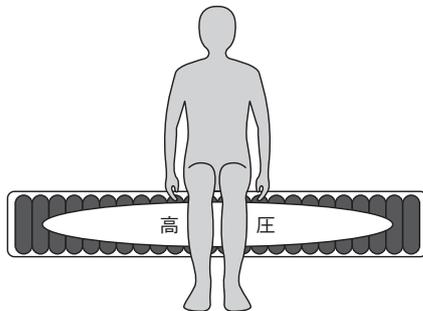


●各機能の操作方法やモードの切替え方法は、15ページを参照してください。

- ①かたさ調整機能 ●エアマットレスの内圧を5段階に調整できます。
- ②圧切替機能 ●エアセルが3連切替で順次膨張収縮を繰り返し、身体にかかる圧力を順次開放します。
※ON/OFFを切替えることができます。(初期設定は、OFF)



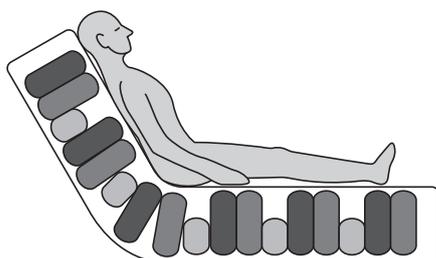
- ③しっかりモード ●ベッドへの乗り降りや端座位をとったり体位変換を行いやすいように、エアセルの内圧を上昇させます。(かたさ調整によらず、同じ内圧になります)
※ON/OFFの切替えができます。(初期設定は、OFF)
※ONに設定しても、60分経過すると自動的にOFFになります。



警告

- 使用する方の容体により、使用時間を調整してください。通常より高いエアセルの内圧状態が続くと効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。

- ④背上げモード ●ベッド背あげ時にでん部の底づきを予防するため、かたさ調整にあわせてエアセルの内圧を上昇させます。
※ON/OFFの切替えができます。(初期設定は、OFF)
※ONに設定しても、120分経過すると自動的にOFFになります。



警告

- 背あげ角度が30°より高い場合は背上げモードをONにしてください。また、使用する方の容体により、背あげ時間を調整してください。通常より高いエアセルの内圧状態が続くと、効果的に体圧が分散されず、床ずれが発生するおそれがあります。

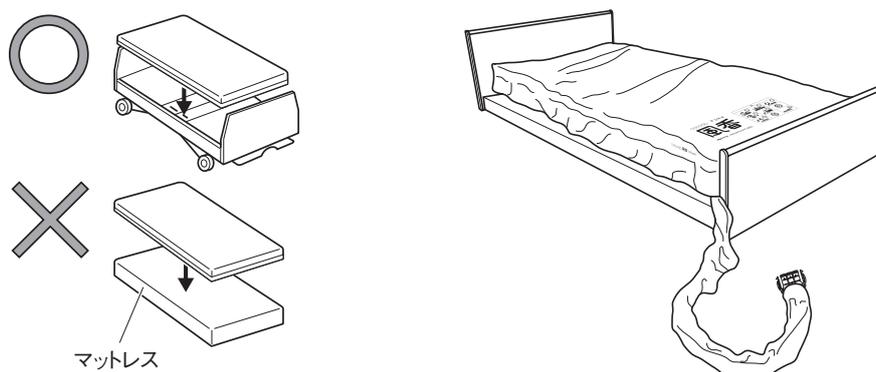
5 設置について

■エアマットレスの設置は、以下の手順で行ってください。

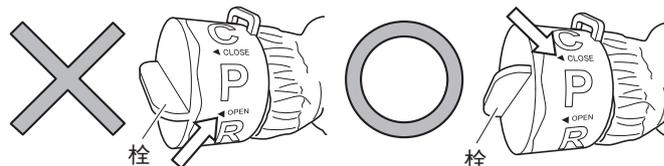
1. マットレス本体の設置
2. マットレス本体とポンプ本体の接続
3. ポンプ本体の設置
4. 電源コードの配線

1. マットレス本体の設置

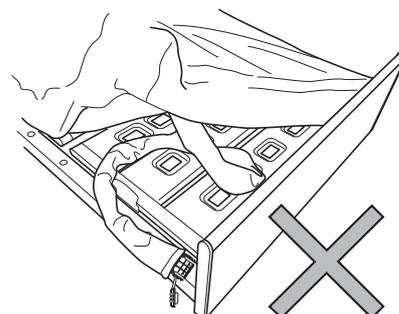
■このエアマットレスは、一般マットレスの代わりに使用する体圧分散マットレスです。ベッド上に直接敷いてお使いください。



- マットレス本体を設置する際は、ベッドのボトムをフラットな状態にして、ベッドのボトム上に障害物がないことを確認してください。
- ボトム左右にマットレス止め（小）が付いているベッドにマットレス本体を設置する際は、ボトム左右のマットレス止め（小）にスナップボタンが乗りあげないようにしてください。
- このエアマットレスには表・裏、頭側・足側があります。マットレス本体を設置する際は、必ず製品ロゴがある面を表にし、送風チューブが使用される方の足側に来るように設置してください。
- CPRバルブの栓が「CLOSE」を指していることを確認してください。「OPEN」を指していたら「CLOSE」位置まで栓を回転させてください。

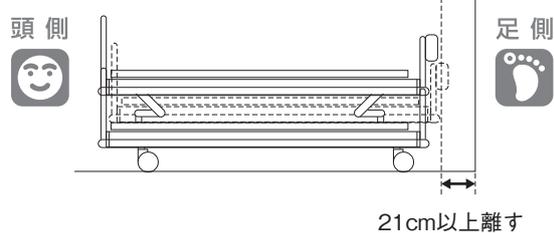


- エアマットレスはベッド上に直接設置し、エアマットレスの上にはシーツやマットレスパッド以外のものを敷かないでください。効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。また、厚みが増すと、ベッドサイドレールを乗り越えやすくなり、使用する方がベッドから転落したり、ベッドサイドレールとのすき間に身体をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 送風チューブは足側に設置してください。頭側に設置すると送風チューブが首にからんでけがをするおそれがあります。
- 送風チューブをマットレス本体の下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されたりすると、床ずれが発生するおそれがあります。



注意

●エアマットレスを設置するベッドは、足側の壁から21cm以上離して設置してください。ポンプ本体をフットボードに引っ掛けて使用している場合、ベッドの高さ調節のとき、ベッドのメインフレームが前後に動作するため壁に当たり、ポンプ本体や壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。

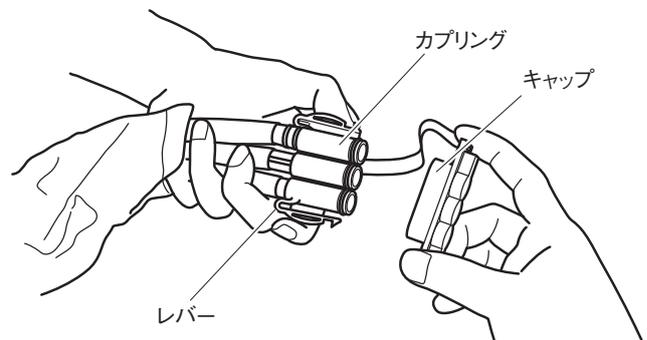


2. マットレス本体とポンプ本体の接続

①カプリング両脇のレバーを両側から内側に押し、もう一方の手でキャップを抜き取ってください。



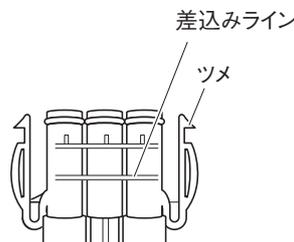
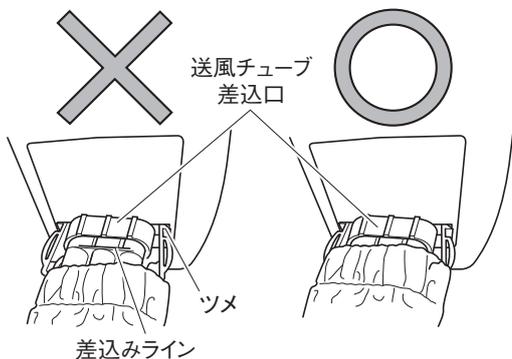
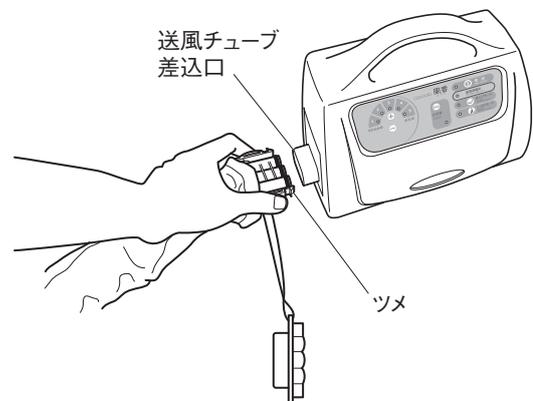
●キャップを無理に抜き取らないでください。



②カプリング両脇のレバーを両側から内側に押し、ポンプ本体の送風チューブ差込口に差込んでください。



●「カチッ」と音がするまで差込んでください。左右両方のツメおよび差込みラインが送風チューブ差込口の内側に入っていることを確認してください。



警告

●送風チューブのカプリングが正しく接続されていることを確認してください。確実に接続されていないと、エアマットレスに空気が供給できなくなり、効果的に体圧分散ができなくなるおそれがあります。

注意

●ポンプ本体からカプリングを外す場合、カプリングの両脇のレバーを押して引き抜いてください。送風チューブを持って引き抜くと、カプリングや送風チューブが破損するおそれがあります。

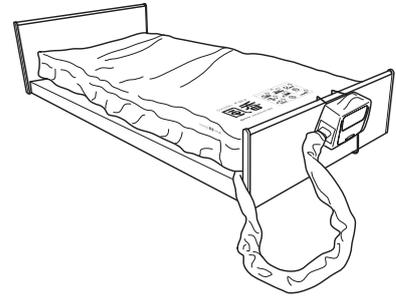
5 設置について

3. ポンプ本体の設置

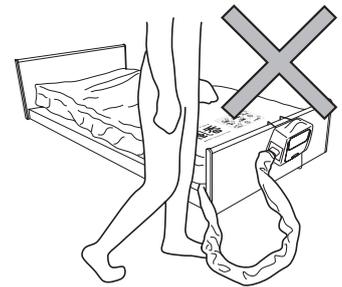
■ポンプ本体のボード掛金具をベッドのフットボードに引っ掛けて固定してください。



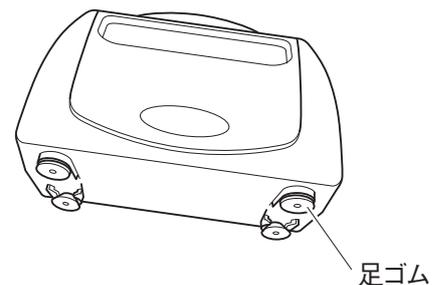
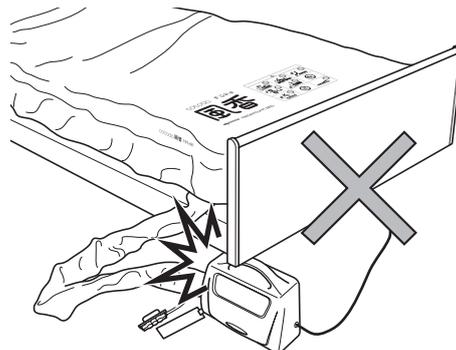
- フットボードに引っ掛けられないベッドでご使用の場合はポンプ本体を足側などの邪魔にならない位置の水平で安定した場所に置いてください。
※ベッドの高さをあげた際に、送風チューブが引っ張られない場所に置いてください。
- ポンプ本体が結露している場合は、ポンプ本体を乾いた布などで拭き、室温に馴染ませてからご使用ください。



- ポンプ本体を取扱う際は、電源コードのコードを持たずにポンプ本体の取っ手をしっかり持ってください。断線により感電・火災のおそれがあります。
- ポンプ本体の取扱いに注意してください。エアマットレスが誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
 - ・踏みつけたり、押しつけたり、無理な力をかけたりしないでください。
 - ・ゆかなどに落としたり壁などにぶつけたりしないでください。
 - ・電源コードを無理に引っ張らないでください。
 - ・傷つけないでください。
 - ・水をかけたり濡れた手で触ったりしないでください。
- ポンプ本体を設置する際、送風チューブを折り曲げないでください。十分な空気が送られず床ずれが発生するおそれがあります。
- 送風チューブの取扱いに注意してください。転倒してけがをしたり、製品が破損したりするおそれがあります。
 - ・足を引っ掛けないようにしてください。
 - ・踏みつけたり、ものを置いたりしないでください。



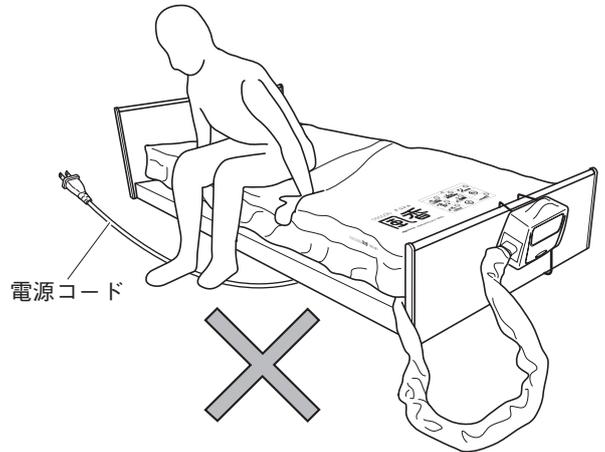
- ポンプ本体を高さ調節機能のあるベッドのフットボードに掛けずにゆかに設置した場合、ポンプ本体がベッドのフレームとゆかとの間にはさまれないように注意してください。ベッドの高さをさげる際にフレームとゆかの間にはさまれてポンプ本体が破損するおそれがあります。
- ポンプ本体をゆかに置く場合は、足ゴムが床材に直接触れないように布や紙を敷いてください。足ゴムが床材に直接触れた状態だと、床材が変色するおそれがあります。



- ポンプ本体をベッドのフットボード以外に直接触れさせないでください。振動音を発するおそれがあります。また頭側への設置も避けてください。わずかな作動音が聞こえる場合があります。

4. 電源コードの配線

- ① ベッドの高さを最大まであげてください。
- ② 電源コードをエアマットレスへの乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。



- 電源コードは、エアマットレスへの乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。
- 高さ調節機能付きのベッドの場合は、ベッドの高さを最大まであげた状態で配線してください。あげた状態で配線しないと、ベッドの高さをあげた際に電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。
- 電源コードをベッド内部やベッドの下に通さないでください。キャスターや可動部などにはさまれてコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

6 使用方法

1.ポンプ本体の操作パネルの名称と各機能の操作方法

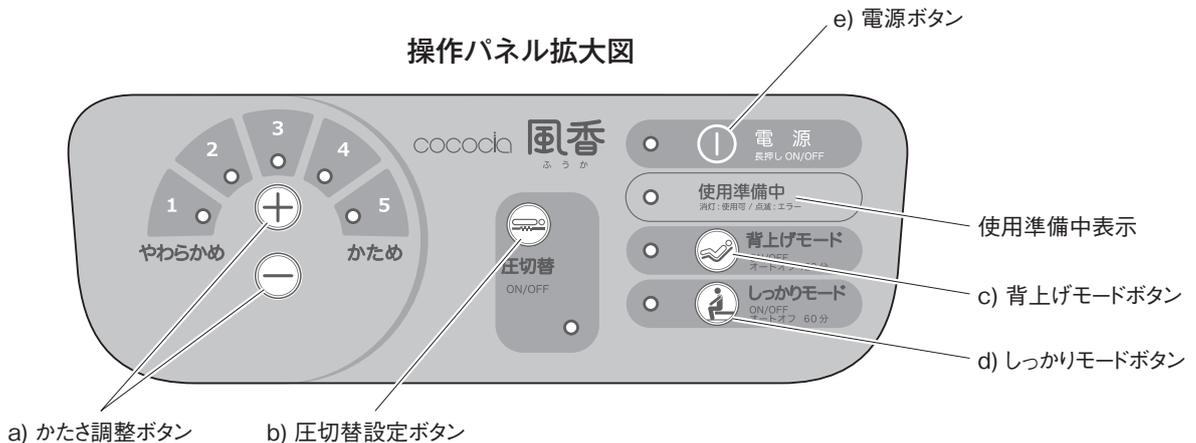
■操作パネルの操作ボタンを押すことでエアマットレスの各機能（10ページ）の設定を変更できます。

ポンプ本体の操作ボタン

操作パネルには下記の5種類のボタンがあります。

- a) かたさ調整ボタン（プラスとマイナスの2種があります）
- b) 圧切替設定ボタン
- c) 背上げモードボタン
- d) しっかりモードボタン
- e) 電源ボタン

各ボタンにより機能のON/OFFや硬さの調整ができ、該当する状態が点灯表示されます。
また、空気が十分に入っていないときは、使用準備中のランプが点灯します。



使用開始前の操作

- ①ポンプ本体の電源コードをコンセントにつなぎ、電源ボタンを長押し（2秒）します。
ポンプ本体が動作しエアセルが膨らみます。
- ②使用される方の体重によってマットレスの硬さを調整します。
かたさ調整ボタンの+ボタンを押すとかため、-ボタンを押すとやわらかめに調整できます。
- ③必要に応じて、圧切替、背上げモード、しっかりモードのボタンを押して各機能のON/OFFを調整してください。



- ポンプ本体の電源コードをコンセントにつなぎ、電源ボタンを長押しすると20分で空気が入ります。
- 硬さや各機能のON/OFFは、使用する方の体重や体型、ベッドの背ボトムや膝ボトムの角度にあわせて調整してください。

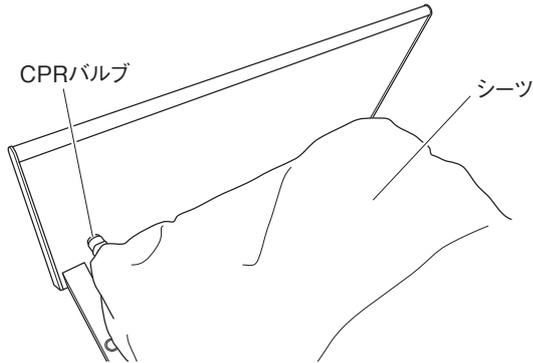
2. シーツのかけかた

■エアマットレスが膨らんだ後、シーツやマットレスパッドを掛けてください。

CPRバルブはシーツで覆わず、ヘッドボードとマットレス本体の間に収納してください。



●CPRバルブはシーツで覆わないでください。緊急時に迅速なCPR機能の使用ができなくなるおそれがあります。(CPR機能については下記を参照してください)



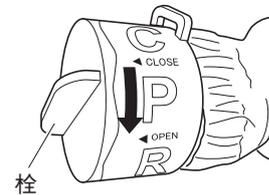
●汗を多くかけられる方が使用する場合は、空調管理を十分に行うとともに、必要に応じて体位変換を行ってください。また、シーツやマットレスパッドなどの洗濯・交換およびエアマットレスの日常のお手入れを頻繁に行ってください。

3. CPR機能の使いかた

■緊急時などにCPR機能を使用することで、エアマットレスの空気がすばやく排出され、30秒で心臓マッサージが行えるようになります。

※空気が排出される時間は、使用する方の体格や各機能の設定状態によって異なります。

■マットレス本体頭側のCPRバルブを持ち（2.シーツのかけかたの図を参照）、先端の栓を「CLOSE」から「OPEN」の位置に回してください。



●CPR機能を使用した後、再度マットレス本体に空気を入れる際は、先端の栓を「OPEN」から「CLOSE」の位置に回してください。

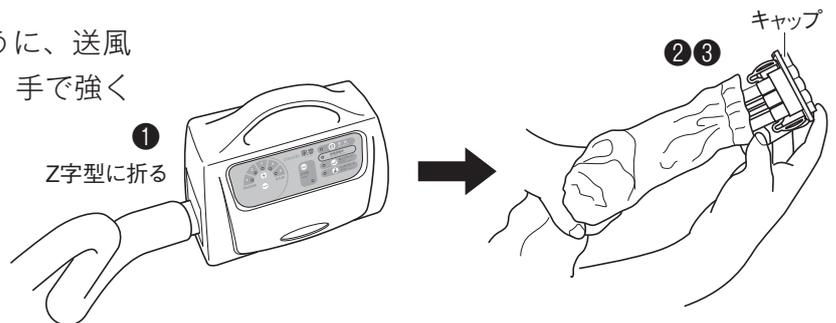
4. 停電時の対応

■停電時には、下記の手順でマットレス本体をポンプ本体から取外し、カプリングにキャップを取付けて空気が漏れないようにしてください。

① マットレス本体の空気が抜けないように、送風チューブをZ字型にきつく折り曲げて、手で強く抑える。

② ポンプ本体からカプリングを取外す。

③ カプリングにキャップを取付ける。



●使用状況により異なりますが、1ヶ月空気を保持することができます。ただし、停電中はエアマットレスの圧切替などの除圧効果や機能は働きませんので、使用する方の状態に注意してください。

●電源復旧後は、停電前の設定が維持されます。

7 お手入れと点検

1. お手入れ



●お手入れは、電源プラグを抜いて行ってください。エアマットレスが誤動作し、けがをするおそれがあります。



●お手入れのためにポンプ本体をマットレス本体から外した場合は、カプリングにはキャップを取付け、カプリングおよび送風チューブ差込口に水などが浸入しないように注意してください。ポンプ本体やエアセルに水分が浸入すると、故障やカビ発生の原因となります。

●お手入れ後は、ファスナーが確実に閉まっていることを確認してください。お手入れのために側地を外した場合は、お手入れ後に側地のファスナー（2本）を確実に閉めてください。開いているファスナーから水分などが浸入して、詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。

●マットレス洗浄機やオートクレーブ滅菌器・オゾン殺菌器・洗濯機などでは洗浄しないでください。エアマットレスや洗浄・殺菌設備などが変質・破損・劣化するおそれがあります。

マットレス本体のお手入れ

【側地の清拭方法】

■マットレス本体の側地が汚れたり、使用される方が替わったりする際は、必ずマットレス本体の側地全面を、下記の手順（①～④）に従ってお手入れしてください。

●エアマットレスは定期的に清拭消毒してください。

①汚物があれば除去してください。（血液・便など）

②石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でマットレス本体の表面（ひょうめん）の側地を拭き、汚れを落としてください。



●ファスナーを開けて清拭をしないでください。詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。ファスナーが開いている場合は、閉めてください。

●血液・尿・皮脂などの汚れは放置せず、こまめに中性洗剤や石鹼を用いて落としてください。放置すると側地が劣化したり、臭いやしみが残ったりするおそれがあります。

- ・使用中についた側地の臭いは、市販の口内洗浄剤を使用すると軽減する場合があります。
- ・しみがある場合は、オキシドール（過酸化水素水：濃度3%）でしっかり拭き取ってください。

●揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）は使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。

③消毒剤でマットレス本体の表面（ひょうめん）を清拭消毒してください。

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱い方法に従って使用してください。

0.02%	次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスなど）
0.05～0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05～0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）



●消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。側地の防水性能などの劣化や変色が生じるおそれがあります。

④ベッドの上などで自然乾燥させてください。また、天日干しはしないでください。

【側地（トップカバー）の洗浄方法】

- ①ファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ②石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で、つけ洗いしてください。
- ③洗剤がなくなるまで水ですすいでください。
- ④破損しないように、ねじらず軽く絞ってください。
- ⑤陰干しして、完全に乾燥させてください。
- ⑥側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）に取付け、ファスナーを最後までしっかりと締めてください。

【エアセルの清拭方法】

■エアセルは側地によって覆われているので、お手入れを頻繁に行う必要はありません。

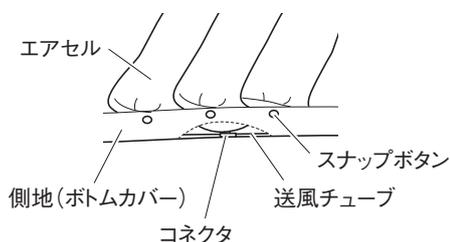


●エアセルをお手入れする際は、エアセル1本1本をマットレス本体から分離しないでください。

- ①カプリングをポンプ本体から取外し、エアセルの空気を抜いてください。
- ②側地（トップカバー）を取外してください。
- ③17ページの【側地の清拭方法】を参照して、エアセルを清拭してください。
- ④自然乾燥させた後、側地のファスナーを最後まで閉めてください。
- ⑤マットレス本体とポンプ本体を接続してください。（12ページ参照）



●お手入れ後はエアセルと側地（ボトムカバー）に付いているスナップボタンが確実に付いていること、送風チューブのコネクタが外れていないことを確認してください。空気の供給ができなくなるおそれがあります。



7 お手入れと点検

ポンプ本体のお手入れ方法

【ポンプ本体の清拭方法】

■ポンプ本体は定期的にお手入れを行ってください。お手入れの際は電源プラグを抜き、以下の手順で行ってください。

- ①汚物があれば除去してください。（血液・便など）
- ②石鹸水（市販の石鹸、中性洗剤などを水で薄めたもの）でポンプ本体を拭き、汚れを落としてください。



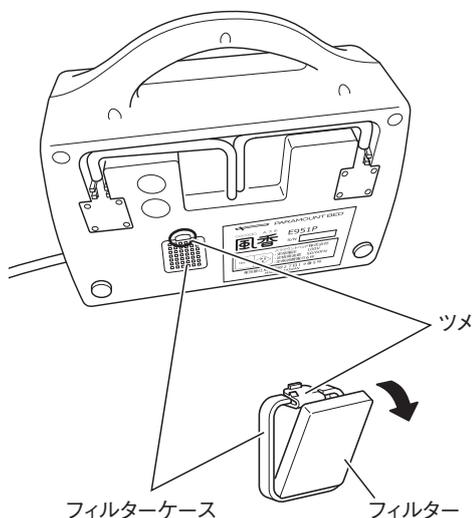
- 血液・尿・汗・皮脂などのたいていの汚れや臭いは中性洗剤や石鹸で落とせますが、放置すると臭いが残ったり、しみになったりする場合があります。しみがある場合は、オキシドール（過酸化水素水：濃度3%）でしっかり拭き取ってください。
- 揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。

- ③消毒剤でポンプ本体を清拭消毒してください。

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の指示に従って使用してください。

- 76.9～81.4% 消毒用エタノール
- 70% イソプロパノール
- 0.05～0.2% 塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
- 0.05～0.2% 塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
- 0.05% グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）

フィルターの交換



■フィルターは定期的に点検・交換をしてください。点検・交換の際は、電源プラグを抜き、以下の手順で行ってください。

- ①ポンプ本体裏面にあるフィルターケースの『ツメ』を押し、ケースを取出してください。
- ②フィルターを交換してください。
※ここちあ風香用フィルターについては、販売店またはここちあセンター（29ページ参照）までお問い合わせください。



- フィルターは汚れたら交換してください。
※使用場所や環境・使用時間により異なりますが、連続使用の場合、1年に1回の交換をお勧めします。



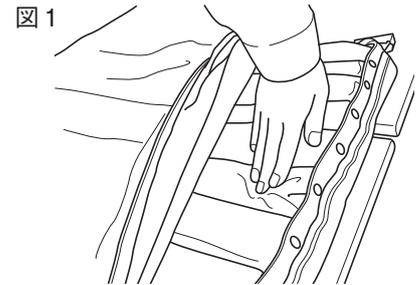
- フィルターは定期的に点検を行ってください。フィルターが目詰まりしていると、正常に作動しないおそれがあります。
- フィルター交換の際、指定の「ここちあ風香用フィルター」を確実に取付けてください。指定以外のフィルターを取付けたり、付け忘れたりすると、ポンプ内部に虫やほこりが入り込み、正常に作動しないおそれがあります。また、故障の原因となります。

2.点検

日常点検

■使用する際は、以下の点に注意して日常点検を行ってください。

名称	点検項目	確認方法
マットレス本体	<ul style="list-style-type: none"> ・極端に沈み込んでいないか（図1参照） ※圧切替機能をONにしているときは、一部のエアセルが凹んでいます。 ※マットレスが極端に沈み込んでいる場合、エアセルが破損しているおそれがあります。内部のエアセルを確認し、21～22ページの【8 故障かな? と思ったら】を参照して、処置を行ってください。 	触感
カプリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ本体に確実に固定されているか ※確実に固定されていない場合は、12ページの「マットレス本体とポンプ本体の接続」を参照して、再度接続してください。 	



定期点検

■安全にご使用いただくために、1年に1回は点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に以下の項目を点検してください。

■異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、ここちあセンター（29ページ参照）までお問い合わせください。

名称	点検項目	確認方法
側地	<ul style="list-style-type: none"> ・破損していないか 	目視
マットレス本体	<ul style="list-style-type: none"> ・スナップボタンが取付けられているか ・送風チューブとエアセルが接続されているか ・カプリングと送風チューブが接続されているか 	
ポンプ本体	<ul style="list-style-type: none"> ・破損していないか ・フィルターが汚れていないか ※フィルターが汚れている場合は、19ページの「フィルターの交換」を参照して、フィルターを交換してください。 	
カプリング	<ul style="list-style-type: none"> ・破損していないか 	
電源コード	<ul style="list-style-type: none"> ・傷や破損がないか ・電源コードが正しく配線されているか ※配線方法は14ページの「電源コードの配線」を参照してください。 	

8 故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合や原因が分からない場合は、ただちにエアマットレスの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンター（29ページ参照）まで修理をご依頼ください。

症状・状態	チェック	処置
ポンプ本体が動かない	電源プラグはコンセントに接続されていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ランプが消灯してOFFになっていませんか？	電源ボタンを2秒間押してください。
	ヒューズが緩んでいませんか？	ヒューズを締め込んでください。
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズを交換してください。
使用準備中のランプが点灯している、または、エアマットレスが膨らまない	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。交換フィルターは販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。
	カプリングがポンプ本体から抜けていませんか？	カプリングをポンプ本体の送風チューブ差込口に差し直してください。
	CPRバルブがOPENになっていませんか？	CPRバルブの先端の栓をCLOSEの位置まで回してください。
部分的にエアセルの空気が抜けている	圧切替設定ランプが点灯してONになっていませんか？	圧切替設定がONに設定されているため、エアセルが順次膨張・収縮しません。故障ではありません。
	エアセルに穴が開いていませんか？	エアセルが破損しています。販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。
	エアセルと送風チューブの接続が外れていませんか？	エアセルと送風チューブを接続してください。
	送風チューブとカプリングの接続が外れていませんか？	送風チューブとカプリングを接続してください。
	送風チューブが折れ曲がっていませんか？	送風チューブを伸ばしてください。
エアセルが順次膨張・収縮しない	圧切替設定ランプが消灯してOFFになっていませんか？	順次膨張・収縮させる場合は、圧切替設定をONにしてご使用ください。
	しっかりモードランプが点灯してONになっていませんか？	しっかりモード中は、エアセルが順次膨張・収縮しません。故障ではありません。
	エアセルに穴が開いていませんか？	エアセルが破損しています。販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。
	送風チューブが折れ曲がっていませんか？	送風チューブを伸ばしてください。
	電源ランプが消灯してOFFになっていませんか？	電源ボタンを2秒間押してください。

症状・状態	チェック	処置
エアマットレスが硬すぎる	しっかりモードランプが点灯してONになっていませんか？	しっかりモードがONに設定されているため、マットレス内部の圧力が高めになっています。必要時以外はOFFにしてご使用ください。
	背上げモードランプが点灯してONになっていませんか？	背上げモードがONに設定されているため、マットレス内部の圧力が高めになっています。必要時以外はOFFにしてご使用ください。
ポンプ本体が動いたり止まったりする	—	正常に動作しています。故障ではありません。
ポンプ本体から異音がる	ポンプ本体は、がたつきのある部分に引っ掛けられていませんか？	ポンプ本体をがたつきのない部分に引っ掛ける、または、置いてください。
底づきしてしまう	背上げモードランプが消灯してOFFの状態です。ベッドの背あげをしていますか？	ベッドの背あげをする際は、背上げモードをONにしてご使用ください。
	エアマットレスを使用する方は骨突出や円背、下肢拘縮が顕著な方ですか？	骨突出や円背、下肢拘縮が顕著な方が底づいてしまう場合は、かたさ調整の+ボタンで調整して、底づかないことを確認してください。
異臭がる	定期的にお手入れしていますか？	17～19ページの「1.お手入れ」を参照して、お手入れしてください。

9 長期保管・輸送と廃棄について

■長期にわたりエアマットレスをご使用にならないときやエアマットレスを梱包して輸送するときは、以下に記載の【エアマットレスのしまいかた】に従い、エアマットレスを段ボールに入れてから保管・輸送してください。

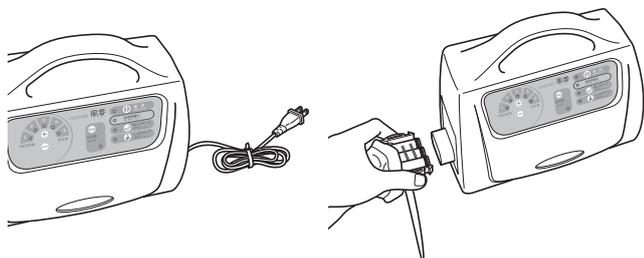
【エアマットレスのしまいかた】

- ①コンセントから電源プラグを抜き、電源コードを付属のケーブルクランプで束ねてください。
カプリング両脇のレバーを両側から内側に押し、ポンプ本体からカプリングを取外してください。

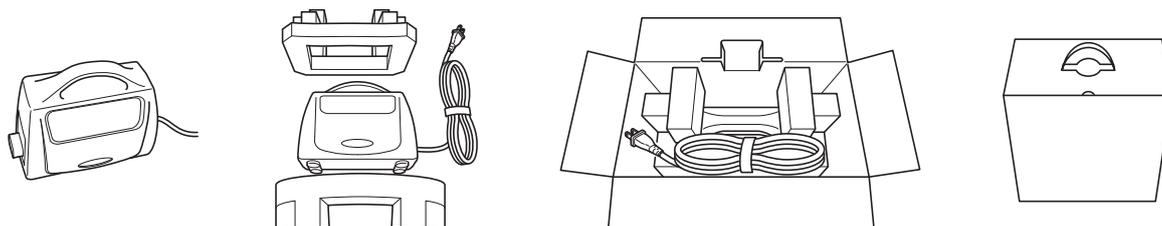


ちゅうい
注 意

- ポンプ本体からカプリングを取外す場合、カプリング両脇のレバーを押して引き抜いてください。送風チューブを持って引き抜かないでください。カプリングや送風チューブが破損するおそれがあります。



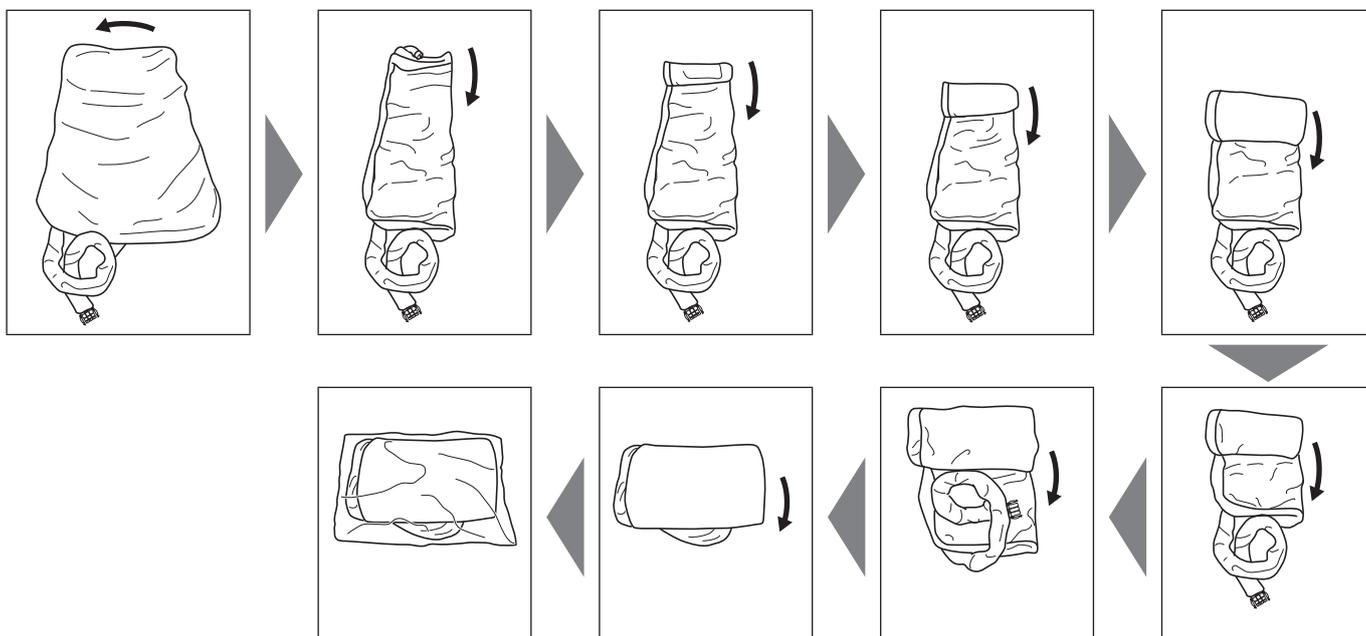
- ②ポンプ本体を、お買い上げ時に入っていたパッドを用いて、ポンプ用段ボール箱に入れてください。



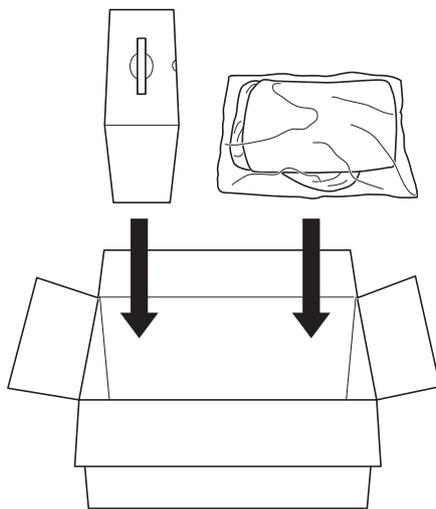
- ③マットレス本体を、図のように丸めて、お買い上げ時に入っていたビニール袋に入れてください。



- 送風チューブは、折らずにゆるく丸めて側地ぐるんでください。指定外の丸めかたでは送風チューブが折れるおそれがあります。



④②のポンプ用段ボール箱に入れたポンプ本体と③マットレス本体を段ボール箱に入れてください。



- 重いものを載せないでください。
- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所・直射日光を避けてください。
※保管環境：温度 $-10\sim 60^{\circ}\text{C}$ 湿度 $0\sim 85\% \text{RH}$
※詰め物（エアセル・送風チューブなど）が変色するおそれがありますが、製品の機能に問題はありません。
※臭いが気になる場合は、風通しのよい日陰にエアマットレスを1日放置したり、お手入れ（17～19ページ参照）したりすることで、臭いは低減します。
- 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。



ちゅう
い
注意

- 保管温度・湿度の範囲内で保管してください。カビの発生や故障の原因となります。

廃棄方法

- 各パーツを素材ごとに分けてください。
- 廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規制に従ってください。

10 仕様

■ マットレス本体およびポンプ本体

品名		エアマットレスこちあ風香		
品番		KE-951M	KE-953M	
マットレス 本体	サイズ (cm)	幅	91	83
		長さ	191	
		厚さ	13	
	材質	トップカバー	ポリウレタン・ポリエステル (抗菌・難燃・防水)	
		ボトムカバー	塩化ビニル・ポリエステル (抗菌・難燃・防水)	
		チューブ	塩化ビニル	
		エアセル	ナイロン・ポリウレタン	
		カプリング	PBT樹脂	
	エアセル本数		17本	
	製品質量 (kg)		4.5	4.3
ポンプ 本体	サイズ (cm)	幅	25	
		奥行	11	
		高さ	22	
	主な材質	ケース	ABS樹脂 (難燃・耐薬)	
		プラス	2P	
	電源	コード	VCT (黒) φ7.5mm	
		長さ	4m	
	製品質量 (kg)		2.2	
動作保証 条件	使用温度/湿度	15~40℃ /30~75% RH		
	保管温度/湿度	-10~60℃ /0~85% RH		
使用者体重 (kg)		30~138		
電源電圧・周波数		AC100V 50/60Hz		
消費電力		6W		
メインヒューズ		1A /250V		
耐用期間		5年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし、消耗部品は除く		

11 適合品



けい
警告
こく

●エアマットレスと組合せて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください。指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりエアマットレスが破損したりするおそれがあります。



●適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

■ベッド

・小児ベッドは適合しません。

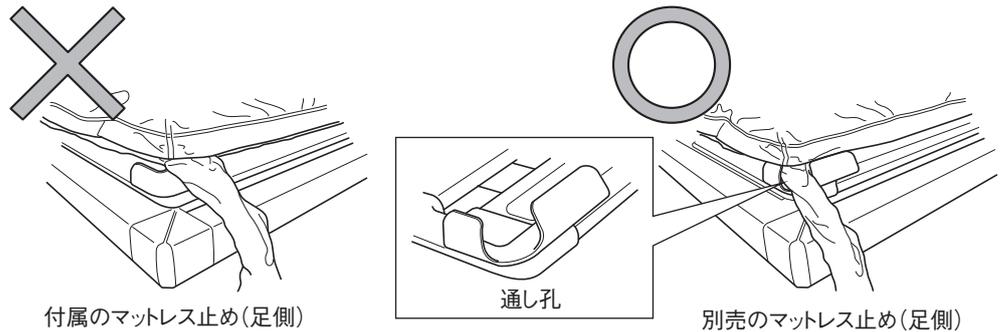
【ベッドの適合品】

適合品 ※延長フレーム・延長マットレス・78cm幅・100cm幅は除く
アリウスシリーズICU
アリウスシリーズ
A6シリーズ
KA-85000シリーズ
KA-60000シリーズ
メーティスPROシリーズ
メーティスシリーズ
ウッディー/ドージェシリーズ
スタンダードベッド
ベーシックベッド
KA-5000シリーズ
アルデコラシリーズ
KA-4000シリーズ
エスパシアシリーズ
カリストエールシリーズ
KA-7900シリーズ
FeeZシリーズ
KA-4351 (ドミトリーベッド)
KRシリーズ
KR+シリーズ
楽匠フィットシリーズ
楽匠プラスシリーズ
楽匠Zシリーズ
楽匠FeeZシリーズ
レントシリーズ
楽匠Sシリーズ
楽匠シリーズ
介護用ベッド KQ-5000シリーズ
介護用ベッド KQ-50000シリーズ
介護用ベッド KQ-60000シリーズ
KQ-B6000シリーズ
RA-C1/C2モデル、INTIME 1000シリーズ ※別売のマットレス止め（足側）が必要
INTIME 2000シリーズ ※木製ボードセットを取付けた場合のみ適合 ※別売りのマットレス止め（足側）が必要

11 適合品



- 楽匠フィットシリーズベッドでフットパネル（KQ-PC01C/02C）を取り付けたベッド（KQ-C***B/C/D/E）には使用できません。
エアマットレスが落下して転落・転倒し、けがをするおそれがあります。
- RA-C1/C2モデル・INTIME1000シリーズ・INTIME2000シリーズと組合せて使用する場合は、別売のマットレス止め（足側）に付替え、その通し孔に送風チューブを通してご使用ください。ベッドへの設置が不安定になったり、送風チューブが折れて空気が供給できなくなったりして、効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。
- 別売のマットレス止め（足側）の購入については、直接弊社までお問い合わせください。



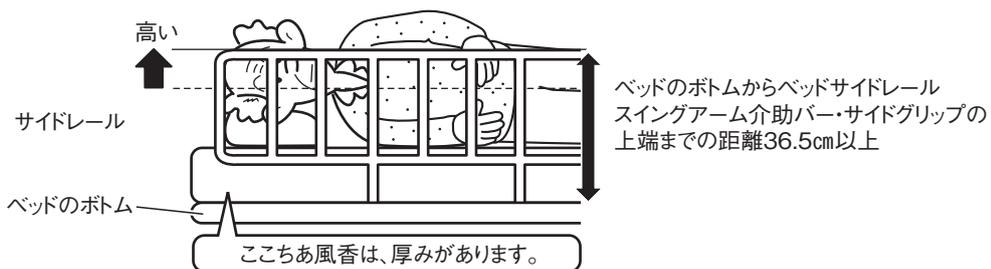
【その他の適合品】



- 適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。最新の情報やご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

■ベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップ

- ・適合品は、ベッドやベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップの取扱説明書および弊社のカatalogもあわせてご確認のうえ、適合が認められている製品から選択し、且つ下記の適合基準を満たす組合せでご使用ください。



- 同じベッドサイドレールやスイングアーム介助バー・サイドグリップでも適合するベッドが異なります。ご使用になるベッドとベッドサイドレールなどの組合せで確認してください。

■オーバーレイ（KE-351他：清拭タイプ・通気タイプ）

- ・適合しません。

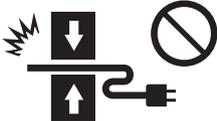
■サイドサポート

- ・使用するベッドにより適合する取付けかたが異なります。取付けかたの詳細につきましては、直接弊社までお問い合わせください。

12 製品のシンボル定義

●側地（トップカバー）の警告印字（4ページを参照）のシンボルマークは、それぞれ下記の内容を表しています。

警告

- ①  ① ■電源コードのはさみ込みに注意してください
●配線は14ページを参照して、正しく行ってください。ベッド可動部へのはさみ込みなどにより、電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ②  ② ■電源コードはベッド（エアマットレス）への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください
●電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの外れ・破損などにより感電・火災のおそれがあります。
- ③  ③ ■身体のはさまれに注意してください
●ベッドサイドレールやベッド用グリップなどと一緒に使用される場合は、それらの製品やベッドと、エアマットレスとのすき間に身体をはさまれると、けがをしたり、圧迫により窒息したりするおそれがあります。
●本製品は、特性上、沈み込みやすいので十分注意してください。
- ④  ④ ■ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください
●ベッドサイドレールを乗り越えて転落し、けがをするおそれがあります。
●このエアマットレスは他のマットレスに比べ厚みがあるため、相対的にベッドサイドレールが低くなり、ベッドサイドレールを乗り越えやすくなるのでご注意ください。
- ⑤  ⑤ ■乗り降りしたり、端座位をとったりする際には転落・転倒に注意してください
●ベッド（エアマットレス）へ乗り降りしたり、端座位をとったりする際は『しっかりモード』（15ページ参照）に設定し、エアマットレス全体が硬くなってから行ってください。また、看護する方や付き添いの方などが身体を支えてあげるかベッド用グリップなどを持たせて滑り落ちないようにしてください。
●本製品は特性上沈み込みやすく、特にポンプ本体とマットレス本体の境目は段差になりやすいため十分注意してください。
- ⑥  ⑥ ■側地（トップカバー）のファスナーやポンプカバーが開いた状態で使用しないでください
●開いているファスナーやポンプカバーから水分などが浸入し、ショートして感電したり、故障したりする原因となります。
- ⑦  ⑦ ■エアマットレスの上で立ちあがったり、飛び跳ねたりしてエアマットレスに衝撃を与えないでください
●転落・転倒してけがをしたり、エアマットレスが破損したりするおそれがあります。

注意

- ⑧  ⑧ ■エアマットレスの表面（ひょうめん）に針など鋭利なものを接触させたり、衣服のポケットに鋭利なものを入れた状態で使用したりしないでください
●内部のエアセルが破損するおそれがあります。
- ⑨  ⑨ ■火気または温度の高いものを近づけないでください
●エアマットレスの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・発火などの原因となります。

13 アフターサービスについて

1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼される時

取扱説明書の「8 故障かな?と思ったら」(21～22ページ参照)に従って調べてください。それでも直らないときは、エアマットレスの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはここちあシリーズ製品専用の修理受付窓口であるここちあセンター(下記参照)までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号(2～3ページ)
- お買い上げ日 ●破損または異常の内容(できるだけ詳しく) ●施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- 操作パネル・フィルター・ポンプ本体内部部品は消耗部品です。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはここちあセンターまでお問い合わせください。

ここちあセンター ☎ 0120-02-5518

受付時間: 9:00～17:20(年始休業を除く)

【ここちあセンターについて】

ここちあセンターは、パラテクノ株式会社のここちあシリーズ製品専用のお問い合わせ窓口です。パラテクノ株式会社は、弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

<パラマウントベッド 株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8900(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)

保証書

品名	エアマットレス こちあ風香	品番	全機種
保証期間	1年間		
★ お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		
	ご住所	〒□□□□ - □□□□ ☎ ()	
★ 販売店	店名		
	住所	☎ ()	

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはこちあセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号